

---

# 1. マイカー利用者意識転換策実施の概要

## 1. 1 実施の背景と目的

### (1) 実施の背景

宇都宮市は自家用乗用車の保有台数が全国で19位(平成20年、1,793都市中)であり、通勤目的の移動手段のうち71.4%が自動車である(平成4年パーソントリップ調査結果)など、「クルマ依存社会」といえる状況にある。そしてそれを起因として、交通事故・渋滞・環境汚染などが問題となっており、これらの問題を解決するためには、クルマに依存した社会から、クルマと公共交通が共存した社会への転換を目指す必要がある。

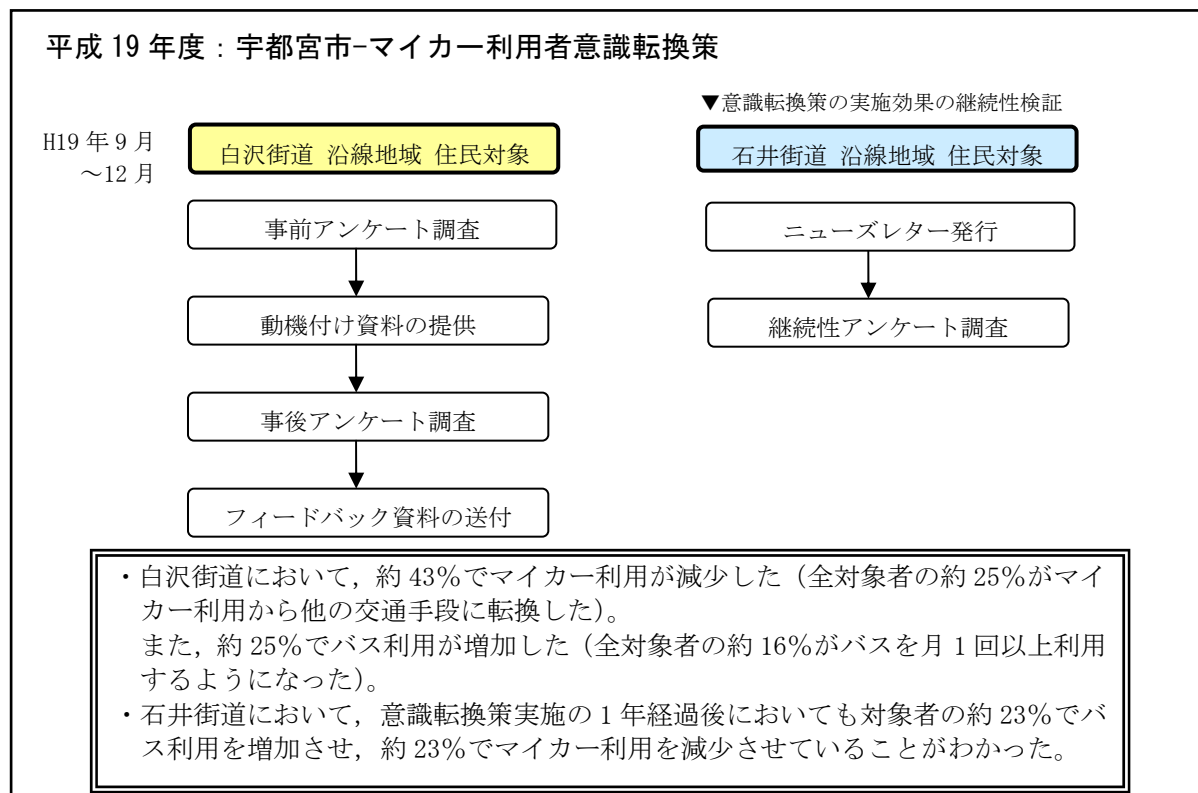
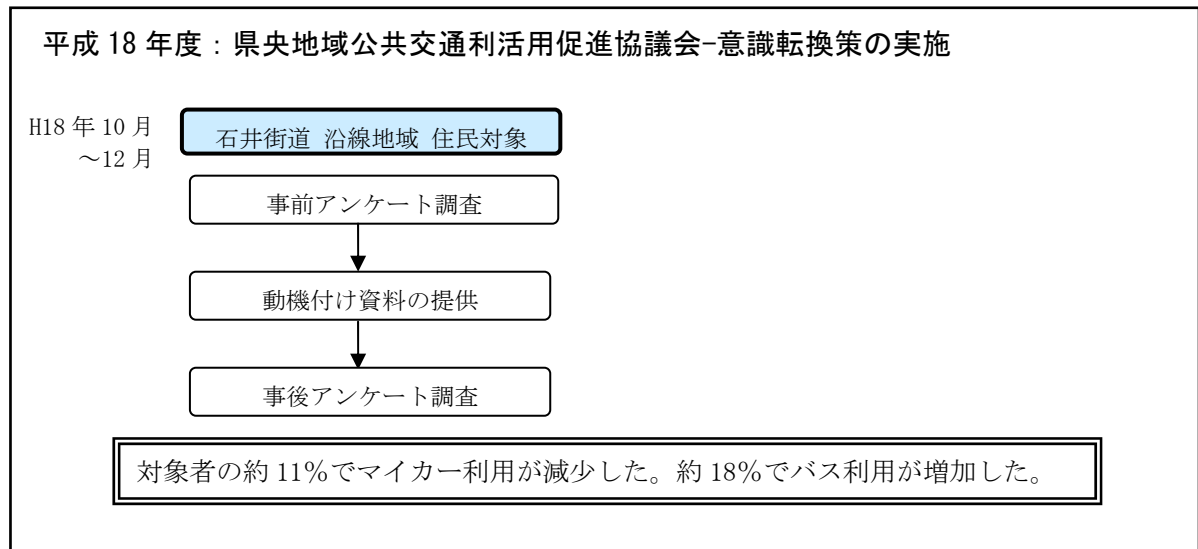
このような状況の中にあつて、平成18年度の事例研究をふまえて、平成19年度にマイカー利用者意識転換策を実施した結果、一定の効果が得られ、マイカー利用者の意識転換・利用転換に効果的な手法であることが確認された。そして、より効率的・効果的な方法を用い、広範囲に取組を進めていくべきとの結論を得たことから、平成20年度においてもマイカー利用者の意識転換を図るモビリティ・マネジメント施策(以下MMと表記)を実施するに至っている。

### (2) 実施の目的

本施策は、宇都宮市の置かれている状況や、過年度におけるマイカー利用者意識転換策の実施結果等を踏まえ、クルマと公共交通が共存した社会への転換を目指す一環として、マイカー利用者の意識転換・利用転換を促すべく実施するものであり、本年度の実施における検討課題は次の2点である。

- i) 新たな地域を対象に効果的なマイカー利用者の意識転換策を検討・実施する。
- ii) 全市的にマイカー利用者の意識転換策を展開していくための今後の取組み方針等を検討する。

【 マイカー利用者意識転換調査の過年度実施概要 】



## 1. 2 実施の枠組み

### (1) 実施の概要

「平成 19 年度マイカー利用者意識転換策調査報告書」で取りまとめた方針(下記参照)をふまえて施策を実施しており、その概要は以下の通りである。

#### 【平成 19 年度調査で取りまとめた「平成 20 年度以降のMM実施方針」】

- (1) 新たな路線におけるMMの実施
  - ①重点・準重点取組路線での実施
  - ②実行組織の設置
- (2) MM実施路線における“継続的”な取組の実施
  - ①MM実施後の“継続的”なアプローチ
  - ②バス事業者と連携した時刻表の“継続的”な提供
- (3) 効果的なMMの実施
  - ①バス利用環境の整備・改善
  - ②バスと中心市街地との連携
- (4) その他の課題
  - ①重点路線以外(利便性が向上した路線)での利用促進策の検討
  - ②職場・学校MMの検討

なお、中心市街地との連携策等を含めた取組全体を「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト」とし、コミュニケーション施策そのもの(TFP)については、「かしこいクルマの使い方を考えるプログラム」という呼称を用いている。

#### 【マイカー利用者意識転換策実施の概要】

- ・実施路線：重点取組路線、または利便性が向上した路線  
具体的には、「日光街道(新里街道)：細谷・戸祭・宝木地区」「西原線：西・西原・宮の原地区」「光ヶ丘団地線：清原地区」の3路線が対象
- ・実施期間：平成 20 年 9 月上旬～12 月中旬(事前～事後アンケート調査の実施期間)
- ・実施概要：事前アンケート
  - ・現在の交通行動や公共交通の利用意向の把握
  - ①情報提供
    - ・公共交通への意識転換を促す動機付けの冊子作成
    - ・事前アンケートに基づく個人を対象とした公共交通に関する情報提供  
→最寄のバス停や目的地の時刻表、路線図等を個人ごとに配布
    - ・公共交通を利用できる目的地の情報提供  
→中心市街地のイベント情報の提供等
  - ②事後アンケート
    - ・交通行動の変化、公共交通への意識の変化の把握
  - ③フィードバック
    - ・交通行動の変化による環境や健康への影響を個人ごとに情報提供  
→交通診断カルテの配布
  - ④ニューズレター
    - ・取組の概要と結果について、対象地域の住民に周知

#### 【意識転換策の実施効果継続のフォロー】

- ・実施路線：石井街道、白沢街道
- ・実施期間：[石井街道]平成 20 年 9 月  
[白沢街道]平成 21 年 3 月
- ・実施概要：①ニューズレター
  - ・取組の概要と結果について、対象地域の住民に周知

## (2) 実行委員会での協議・検討経過

実施内容について協議・検討を行うため実行委員会を設置し、委員会の名称は「宇都宮市モビリティ・マネジメント実行委員会」、施策名としては、市民にわかりやすい表現を用いる必要があることから、「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト宇都宮」とした。

実行委員会、専門部会の役割及び検討経過は以下の通りである。

### 【 実行委員会の構成と役割 】

実行委員会		①施策内容についての協議 ②各専門部会における検討結果のすり合わせ（中心市街地と公共交通の連携策） ③施策の目標・取りまとめについての協議 ④次年度以降の実施方針についての協議
専門部会	公共交通専門部会	バス事業者・行政で構成し、各ツールの内容・情報提供のあり方・利便性向上策・中心市街地と公共交通との連携について協議する。
	中心市街地専門部会	中心市街地代表・イベント関係者・行政等で構成し、イベント時の情報提供・公共交通との連携策について検討する。

### 【 実行委員会での検討内容 】

区 分	開催日	内 容
第1回	平成20年8月26日	・実施内容・役割分担について ・専門部会のあり方と協議内容について ・施策の目標・成果について ・事前アンケートの内容について
第2回	平成20年10月3日	・情報提供の内容・事後アンケート・フィードバックについて ・各専門部会の協議の状況を報告し、中心市街地と公共交通の具体的な連携策について
第3回	平成21年3月25日	・意識転換策の実施結果について ・調査結果のまとめと今後の取り組みについて

### 【 公共交通専門部会での検討内容 】

区 分	開催日	内 容
第1回	平成20年8月29日	・集計・情報提供における作業分担について ・中心市街地との連携策について
第2回	平成20年9月22日	・アンケート結果の入力作業について ・中心市街地との連携策について ・情報提供資料の内容について
第3回	平成21年1月29日	・乗降客数調査について ・アンケート結果と取りまとめの内容について ・中心市街地と公共交通の連携について

### 【 中心市街地専門部会での検討内容 】

区 分	開催日	内 容
第1回	平成20年9月16日	・取組概要と部会の役割について ・イベント情報の提供について ・公共交通との連携策について
第2回	平成20年9月29日	・イベント時の情報提供について ・公共交通との連携策について
第3回	平成21年2月24日	・アンケートの結果ととりまとめの方針について ・バス事業者との連携策について